

風水害への備え

洪水ハザードマップについて

郡山市洪水ハザードマップは、阿武隈川、逢瀬川流域に想定される最大規模の降雨があった場合に、川があふれたり堤防が決壊したりすることで、浸水が想定される範囲や浸水の深さを示すとともに、氾濫によって家屋倒壊等のおそれがある区域などを表示しています。

日頃の防災訓練や洪水時の安全で迅速な避難行動にご活用ください。

想定される最大の降雨について

阿武隈川

(国管理:洪水予報区間)

2日間の総雨量 323mm (福島流域)

逢瀬川及び笹原川

(県管理:水位周知区間と阿武隈川合流点までの区間)

2日間の総雨量 335mm

五百川及び藤田川

(県管理:水位周知区間と阿武隈川合流点までの区間)

2日間の総雨量 383mm

谷田川

(県管理:水位周知区間と阿武隈川合流点までの区間)

24時間の総雨量 360mm



洪水ハザードマップ
(2022.4 改訂)

内水ハザードマップについて

内水氾濫とは、通常、下水道管や水路、道路側溝などを流れて河川に排水されますが、大雨で下水道管や水路がいっぱいになったり、河川の水位が上昇することで、マンホールや水路の側溝等からあふれて浸水を引き起こすものです。

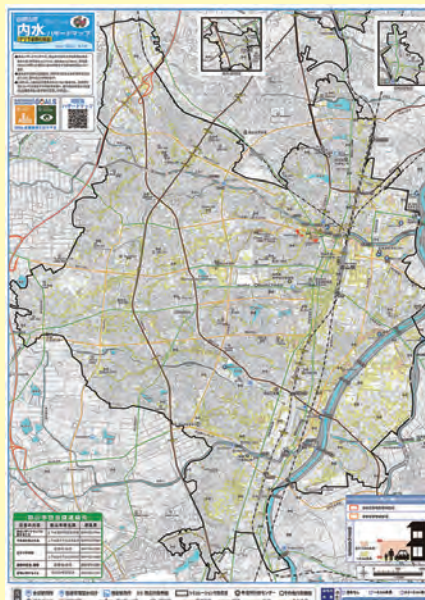
内水ハザードマップでは、郡山市で近年大きな被害を発生させた雨(時間あたりに74mm、10分あたりに23mm、総雨量101mm)が降った場合に浸水が発生する区域を想定しています。

日頃の防災訓練や内水時の安全で迅速な避難行動にご活用ください。

予想される内水被害

下水道の機能を超えるほどの大雨が降ると、道路や鉄道のアンダーパスなど土地が低くなっているところに雨水がたまります。

大きな川の水位が高くなると、樋門の扉を閉め、川から排水路への逆流を防ぎます。そのため住宅側の雨水の行き場がなくなり、浸水することがあります。



内水ハザードマップ
(2022.4 改訂)